

3. 資 料

2022 年度新入生対象 SOAR 導入講義とジェンダーに関するアンケート調査結果

Data : Results of Questionnaire Survey on Introduction-Lectures for “SOAR” and Gender Consciousness of New Students for the Class of 2022 in Mukogawa Women's University

安東由則 *・中尾賀要子 **・河合優年 *・
西尾亜希子 ***・高橋千枝子 ****・山本晶子 ***・高橋享子 *****

抄 録

武庫川女子大学の 2022 年度新入生全員を対象に“MUKOJO 未来教育プログラム SOAR”の導入講義が行われた。この資料は、その際に実施されたアンケート調査結果をまとめたものである。アンケートは、SOAR 導入講義に対する評価と感想を尋ねるとともに、ジェンダーやセクシュアリティ、将来のキャリアプランなどについて尋ねている。新入生が現在もっている認識の程度を知り、今後の“MUKOJO 未来教育プログラム SOAR”や大学全体の教育、学生支援に役立てるためのものである。

キーワード：SOAR プログラム、新入生、アンケート調査、ジェンダー、セクシュアリティ

武庫川学院創設 80 周年を記念して、2020 年に武庫川女子大学の附属研究所として創設された女性活躍総合研究所は、「生涯にわたる女性のキャリア開発に資する各種事業を探索し開発することを基本理念とし、社会の広い分野でジェンダーギャップを乗り越えて活躍できる女性の育成と支援を行う」ことを目的とする。その活動の一環として、女子大学ならではの特色ある教育プログラム“MUKOJO 未来教育プログラム SOAR”を 2022 年度から立ち上げ、SOAR プログラムと命名した。“SOAR”とは、“空に飛び立つ”、“舞い上がる”を意味する英語であり、この基盤教育プログラムを学んだ学生が、社会で飛躍していくことを願って名付けたものである。日本では、まだまだ女性の社会進出が立ち遅れ、教育、雇用、賃金など様々な面で性差が大きく、女性が劣位にある現状を鑑み、本学学生に対しジェンダーやセクシュアリティに関する理解を促し、ヘルスケアや法律・社会制度等の知識を身につけ、生涯にわたるライフプランやキャリアデザインを考えるよう促すことを目指すものである。

SOAR プログラムは本学在学期間を通じて提供することになっているが、そこで伝えたいことの基盤となる知識や情報を短時間に集約して、新入生全員に対して伝えるために SOAR 導入講義を実施することとした。本プログラムへの積極的参加を促すとのねらいもあるが、むしろこれからの社会を自立して生きる女性として知っておいてもらいたい基礎的なことを、すべての入学生に知らせ、自覚と意欲、覚悟をもってもらうことがこの SOAR 導入講義の大きな目的である。SOAR プログラムに関わる 4 名の講師が、上記の内容をコンパクトにまとめて 105 分のプレゼンテーションを行った。その場所および日程、講義内容は以下の通り。

場所：武庫川女子大学 公江記念講堂

日時：2022 年 4 月 6 日 ①教育、健康、音楽、薬学(13:00～14:45) ②短期大学(15:30～17:15)

2022 年 4 月 7 日 ③文、建築、看護(10:00～11:45) ④環境、食物栄養、経営(13:30～15:15)

講義内容：1. 高橋享子 「SOAR の趣旨」、 2. 西尾亜希子「ジェンダーとセクシュアリティ」、
3. 高橋千枝子「女性の仕事環境とキャリアデザイン」、
4. 山本晶子 「女性のライフプランと法律」

* 教育研究所・教授, ** 教育研究所・准教授, *** 共通教育部・教授, **** 経営学部・教授

***** 食物栄養科学部・教授／女性活躍総合研究所・所長

SOAR 導入講義は全新入生を対象とするものであり、女性の視点を重視した入学後の学びに向けた、さらにはその後の女性の社会的自立に向けた準備教育と位置づけられる。高校までの学びとは異なる講義を受けた学生たちが、講義をどう理解し、捉えたのかを検証するとともに、現在彼女らがもっているキャリアプランやジェンダー意識を把握し、今後の SOAR プログラムに活かしていくため、SNS を使用したアンケート調査を行った。この質問票は、教育研究所の中尾賀要子が既存調査を参照して叩き台を作成し、教育研究所の河合優年及び安東由則とやりとりしながら質問項目の加除・修正を行なった。最終的には SOAR 導入講義を行った 4 名の意見を聴き、質問票を完成させた。調査内容としては、下に示す通り 7 つの大問については選択回答方式で、講義を聞いての感想や今後学んでみたい内容については自由記述方式で答えを求めた。

Q 1. SOAR 講義について, Q 2. 仕事とキャリアデザイン, Q 3. ライフプランニング
Q 4. ジェンダー, Q 5. セクシュアリティ, Q 6. 本学への入学動機, Q 7. 属性
自由記述(講義を聴いての感想など)

Google フォームを通じて収集したアンケートデータは、中尾がローデータのスクリーニングと基礎集計を行い、安東が表の作成と統計検定を実施して本稿にまとめた。アンケート結果のデータは、様々な角度から分析し、知見を得ることができるといへんに貴重で有用なものである。その最初の試みとして、中尾が本紀要に「ジェンダー、キャリアデザイン、ライフプランの意識調査 2022 – MUKOJO 未来教育プログラム SOAR の始動によせて –」としてまとめている。本稿でまとめたデータは、中尾の報告の理解を深める補助的な役割も果たし得るものであり、活用を願いたい。

なお、以下に示すデータのまとめと図表作成については、安東が行なったものであり、その責任を負う。

Data : Results of Questionnaire Survey on Introduction-Lectures for “SOAR” and Gender of New Students for the Class of 2022 in Mukogawa Women’s University

The introduction-lectures for "SOAR" were given to all new students of Mukogawa Women’s University in 2022 for the first time. These data summarize the results of the questionnaire survey conducted on that occasion. The survey asked about female students’ evaluation of and impressions of the SOAR lectures, as well as about gender, sexuality, and their career plans. The purpose of the survey is to understand the degree of awareness that new students currently have, and to help inform future SOAR programs, university-wide education and support for students.

2022 年度新入生対象 SOAR 導入講義とジェンダーに関するアンケート調査結果

選択肢データ（クロス集計）

Q0. 回答者数及び出身校の設置者と第一志望大学（学部別）

表0-1. 回答者の所属学部と回答率

※太字は特徴的なもの

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答
回答者数	1,273	205	117	100	198	180	44	17	90	45	104	110	63
%	100.0	16.1	9.2	7.9	15.6	14.1	3.5	1.3	7.1	3.5	8.2	8.6	4.9
(入学者数)	2,588	467	256	220	354	306	92	41	191	102	188	371	
(入学者に占める回答者割合)	49.2	43.9	45.7	45.5	55.9	58.8	47.8	41.5	47.1	44.1	55.3	29.6	

・いずれの学部も回答者は入学者の半数程度（全体で49.2%）。食物栄養学部が58.8%と6割近い回答率で最も高くなっている。短期大学部は3割弱と低い値となっている。

表0-2. 出身高校 × 所属学部 左:人数 右: % (以下同様)

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答													
本学の附属高等学校	94	7.9	18	9.0	11	9.6	2	2.0	15	7	16.3	2	12.5	7	8.0	4	9.1	16	16.2	5	4.5	1	5.9			
本学以外の私立高等学校	294	24.6	51	25.6	19	16.5	38	38.8	42	22.1	26	14.8	10	23.3	6	37.5	42	48.3	7	15.9	18	18.2	28	25.5	7	41.2
公立高等学校（国立舎）	799	66.9	128	64.3	85	73.9	57	58.2	132	69.5	144	81.8	26	60.5	8	50.0	37	42.5	33	75.0	65	65.7	77	70.0	7	41.2
その他	7	0.6	2	1.0	0	0.0	1	1.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	11.8
合計	1,194	100.0	199	100.0	115	100.0	98	100.0	190	100.0	176	100.0	43	100.0	16	100.0	87	100.0	44	100.0	99	100.0	110	100.0	17	100.0

・全体では、公立高校が3分の2を占める。教育、食物、看護の各学部では公立出身が4分の3程度と高い。薬学では本学附属以外の私立高校出身者が48.3%、約半数の割合となっている。

表0-3. 第一志望大学×所属学部

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答													
本学（京産川女子大学・短期大学部）	699	59.6	103	53.1	74	64.9	63	64.9	124	64.2	118	67.4	23	52.3	11	68.8	23	29.1	19	43.2	50	51.5	84	80.0	7	46.7
本学以外の私立女子大学	69	5.9	12	6.2	3	2.6	3	3.1	13	6.7	18	10.3	0	0.0	2	12.5	9	11.4	3	6.8	4	4.1	1	1.0	1	6.7
私立共学	204	17.4	52	26.8	13	11.4	15	15.5	33	17.1	5	2.9	4	9.1	1	6.3	31	39.2	3	6.8	31	32.0	10	9.5	6	40.0
国公立大学	165	14.1	18	9.3	23	20.2	11	11.3	21	10.9	33	18.9	16	36.4	1	6.3	10	12.7	19	43.2	7	7.2	5	4.8	1	6.7
こだわりはなかった	36	3.1	9	4.6	1	0.9	5	5.2	2	1.0	1	0.6	1	2.3	1	6.3	6	7.6	0	0.0	5	5.2	5	4.8	0	0.0
合計	1,173	100.0	194	100.0	114	100.0	97	100.0	193	100.0	175	100.0	44	100.0	16	100.0	79	100.0	44	100.0	97	100.0	105	100.0	15	100.0

・本学を第一志望する者が6割。推薦や附属も含まれるので高い値になっている。

・看護と建築で国立大学を第一志望とした学生が多く、4割前後を占める。薬学と経営では私立共学大学を第一志望としていた者の比率が3～4割と高い。

(※以下、音楽については人数が少ないので、比較のコメントはしないこととする)

Q1. SOAR講義について

表1. SOAR講義の評価（理解度と講義時間）

	合計		文学部		教育学部		健康スポーツ科		生活環境学部		食物栄養科学部		建築学部		音楽学部		薬学部		看護学部		経営学部		短期大学部		無回答/複数回答	
1-1. SOARの概要説明 （高橋享子） 20分	4.05	0.95	4.17	0.89	4.00	0.93	3.87	0.95	4.05	0.90	3.99	0.96	4.27	0.66	4.35	1.00	4.04	1.01	3.93	1.00	3.91	1.08	4.04	0.94	4.25	0.98
1-2. 「ジェンダーとセクシュアリティ の理解」（西尾聖希子）30分	4.04	0.98	4.12	0.96	3.92	1.00	3.89	0.96	4.05	0.94	3.97	0.99	4.32	0.71	4.41	1.00	4.07	1.02	4.02	0.99	3.93	1.14	4.07	0.97	4.20	0.97
1-3. 「女性の仕事環境とキャリアデザ イン」（高橋千枝子）30分	3.99	0.98	4.05	0.96	3.89	0.96	3.80	0.98	4.02	0.94	3.95	0.94	4.20	0.80	4.29	1.05	4.00	1.05	3.82	0.96	3.93	1.09	4.05	0.99	4.07	0.99
1-4. 「女性のライフプランを守る法と 社会制度」（山本晶子）25分	4.01	0.97	4.10	1.00	3.92	0.97	3.84	0.97	4.04	0.94	3.94	0.95	4.35	0.69	4.35	1.00	4.06	1.02	3.80	0.97	3.93	1.09	4.01	0.95	4.18	0.97
1-5. SOAR講義の講義時間 （計105分）	2.51	0.98	2.59	0.87	2.57	0.92	2.41	1.00	2.51	0.93	2.55	0.97	2.50	0.93	2.65	1.22	2.58	1.12	2.51	0.99	2.49	0.91	2.35	1.04	2.38	1.34

※1-1～1-4: 「ほとんど理解できなかった」(1)、「あまり理解できなかった」(2)、「どちらでもない」(3)、「少し理解できた」(4)、「かなり理解できた」(5)の配点とした。

※1-5: 「かなり長かった」(1)、「長かった」(2)、「どちらでもない」(3)、「短かった」(4)、「かなり短かった」(5)の配点とした。

・4名の講義（1-1～1-4）はいずれも平均4点前後の評価（5点満点）で、概ね理解がされたようである。学部間で大きな差異はないが、建築と音楽で理解度が高い傾向。

・講義時間（1-5）については、長かったとする割合（「長かった」+「かなり長かった」）が5割を超えた。

Q2. あなたが今考えている将来の仕事やキャリアについて

以下、各質問と学部のクロスで χ^2 検定と残差分析をおこなった。結果は次のように示している。〔X2検定結果 ***: $p < .001$, **: $p < .01$, *: $p < .05$, n.s.: 有意差なし〕…表の右上に表示

5サンプル未満のセルが20%以上あるなど偏りが大きい質問では検定を行っていない)

(残差分析結果 太字: 5%水準で有意に高い、斜字: 5%水準で有意に低い、□枠: 1%水準で有意な項目)

表2-1. 「中学・高校の授業等で将来のキャリアについて考える機会がどれ程あったか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答													
ほとんどなかった(1)	47	3.7	8	3.9	7	6.1	1	1.0	8	4.0	6	3.4	0	0.0	2	2.2	3	6.7	7	6.8	1	0.9	4	6.9		
あまりなかった(2)	127	10.1	26	12.8	14	12.2	7	7.1	11	5.6	25	14.0	5	11.4	0	0.0	9	10.0	2	4.4	17	16.5	5	4.5	6	10.3
どちらでもない(3)	396	31.4	59	29.1	24	20.9	37	37.8	59	29.8	59	33.0	13	29.5	6	35.3	29	32.2	13	28.9	31	30.1	48	43.6	18	31.0
少しあった(4)	481	38.1	75	36.9	52	45.2	38	38.8	92	46.5	57	31.8	21	47.7	8	47.1	29	32.2	17	37.8	34	33.0	39	35.5	19	32.8
かなりあった(5)	210	16.7	35	17.2	19	16.5	15	15.3	28	14.1	32	17.9	5	11.4	3	17.6	21	23.3	10	22.2	14	13.6	17	15.5	11	19.0
合計	1,261	100.0	203	100.0	116	100.9	98	100.0	198	100.0	179	100.0	44	100.0	17	100.0	90	100.0	45	100.0	103	100.0	110	100.0	58	100.0
平均	3.54	3.51	3.53	3.60	3.61	3.47	3.59	3.82	3.64	3.64	3.30	3.60	3.47													

・教育、生活環境、音楽、看護の各学部で「少しあった」「かなりあった」の合計が6割を超え、建築も6割近く。経営や食物栄養で「あまりなかった」の値が若干高い。

表2-2. 「2-1の回答（中高でのキャリア教育）が、あなたの大学・学部の選択にどの程度影響を与えたか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答													
ほとんど影響を及ぼしていない (1)	72	5.7	13	6.5	5	4.3	2	2.0	14	7.1	9	5.0	4	9.1	0	0.0	8	9.0	3	6.7	9	8.7	2	1.8	3	5.2
あまり影響を及ぼしていない	146	11.6	38	19.1	7	6.1	10	10.2	21	10.7	15	8.4	5	11.4	5	29.4	9	10.1	5	11.1	15	14.6	8	7.3	8	13.8
どちらでもない	477	38.0	57	28.6	46	40.0	48	49.0	71	36.0	69	38.5	17	38.6	5	29.4	36	40.4	14	31.1	35	34.0	52	47.3	27	46.6
少し影響を及ぼしている	371	29.6	68	34.2	40	34.8	23	23.5	59	29.9	50	27.9	14	31.8	6	35.3	20	22.5	11	24.4	34	33.0	37	33.6	9	15.5
かなり影響を及ぼしている (5)	188	15.0	23	11.6	18	15.7	15	15.3	32	16.2	35	19.6	4	9.1	1	5.9	16	18.0	12	26.7	10	9.7	11	10.0	11	19.0
合計	1,254	100.0	199	100.0	116	100.9	98	100.0	197	100.0	178	99.4	44	100.0	17	100.0	89	100.0	45	100.0	103	100.0	110	100.0	58	100.0
平均	3.36	3.25	3.51	3.40	3.38	3.49	3.20	3.18	3.30	3.53	3.20	3.43	3.29													

・中高でのキャリア教育が学部選択に「かなり影響を及ぼした」とする割合は看護学部で26.7%と高く、「少し影響を及ぼしている」を加えると5割を超える（教育でも5割）

健康スポーツや短大では「どちらでもない」の割合が半数近くとなっている。職業や資格・免許の取得と学部選択とが明確な結びついている。

(安東・中尾・河合・西尾・高橋・山本・高橋)

表2-3. 「授業で取得できる・免許資格以外に、卒業までに何らかの免許・資格を持っておくことが必要と考えるか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答・複数回答	
まったく必要だと思わない (1)	8	0.6	1	0.5	1	1.0	2	1.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0
あまり必要だと思わない	37	2.9	7	3.4	2	1.7	3	3.0	4	2.0	5	2.8	1	2.3
どちらでもない	236	18.8	28	13.8	30	26.1	22	22.2	27	13.8	37	20.7	7	15.9
少し必要だと思う	415	33.0	74	36.5	32	27.8	31	31.3	79	40.3	58	32.4	9	20.5
とても必要だと思う (5)	562	44.7	93	45.8	51	44.3	42	42.4	84	42.9	78	43.6	27	61.4
合計	1,258	100.0	203	100.0	116	100.9	99	100.0	196	100.0	179	100.0	44	100.0
平均	4.18	4.24	4.12	4.11	4.22	4.16	4.41	4.12	4.15	4.00	4.33	4.05	4.21	

・いずれの学部でも「とても」+「少し」で8割近くとなり、肯定的な回答を行なっている。とりわけ、建築（61.4%）と経営（55.9%）で「とても必要」とする割合が高い。

表2-4. 「大学生活でボランティア活動参加にどれくらい興味があるか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答・複数回答			
まったく興味がない (1)	27	2.2	3	1.5	0	0.0	3	3.1	6	3.0	4	2.2	1	2.3	0	0.0
あまり興味がない	136	10.9	20	9.9	9	7.8	13	13.3	17	8.6	16	9.0	5	11.4	2	11.8
どちらでもない	465	37.1	66	32.5	28	24.3	34	34.7	76	38.6	70	39.3	23	52.3	3	17.6
少し興味がある	414	33.0	80	39.4	50	43.5	31	31.6	66	33.5	59	33.1	9	20.5	8	47.1
とても興味がある (5)	211	16.8	33	16.3	29	25.2	17	17.3	32	16.2	29	16.3	6	13.6	4	23.5
合計	1,253	100.0	202	99.5	116	100.9	98	100.0	197	100.0	178	100.0	44	100.0	89	100.0
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
合計		3.52		3.59		3.85		3.47		3.51		3.52		3.32		3.82
平均		3.52		3.59		3.8										

・「とても」+「少し」を含め、肯定的な回答が全体で5割であり、それほど高い数字ではなく、学部（薬学や看護）によっては4割前後もある。そうした中で、教育と音楽の割合は約7割と高い。学部の教育内容に関連し、どのようなボランティアがあるかが明確な学部とそうでない学部の差がある。

表2-5. 「大学生活で、インターンシップや起業の体験的活動にどれくらい関心があるか（教育実習や臨床実習を除く）」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答													
まったく関心がない (1)	60	4.8	18	8.9	3	2.6	7	7.2	9	4.6	4	2.2	0	0.0	1	5.9	6	6.7	1	2.2	5	4.5	4	7.3	***	
あまり関心がない	183	14.6	33	16.3	30	26.1	13	13.4	24	12.2	25	14.0	6	13.6	2	11.8	13	14.6	11	24.4	5	2.0	16	14.5	9	5.1
どちらでもない	439	35.0	66	32.5	42	36.5	37	38.1	59	29.9	63	35.4	12	27.3	8	47.1	31	34.8	18	40.0	28	27.7	56	50.9	19	34.5
少し関心がある	366	29.2	55	27.1	30	26.1	25	25.8	73	37.1	58	32.6	16	36.4	3	17.6	23	25.8	12	26.7	37	36.6	20	18.2	14	25.5
とても関心がある (5)	205	16.4	32	15.8	17	9.6	15	15.5	32	16.2	28	15.7	10	22.7	3	17.6	16	18.0	3	6.7	29	28.7	13	11.8	13	23.6
合計	1,253	100.0	204	100.5	116	100.9	97	100.0	197	100.0	178	100.0	44	100.0	89	100.0	45	100.0	101	100.0	110	100.0	110	100.0	55	100.0
平均		3.38		3.25		3.14		3.29		3.48		3.46		3.68		3.29		3.34		3.11		3.85		3.18		3.49

・学部による差が大きい。経営ではインターンに「とても関心がある」が28.7%、「少し関心」を加えると65%と3分の2に及ぶ。建築や生活環境も同様な傾向である。これに対し、看護や教育といった将来の職業が比較的確で、実習が課される学部では、関心の度合いは減少する。

Q3 あなたが今考えている将来のライフプランについて

表3-1. 「将来どのような人生を歩みたいかのイメージをもっているか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答・複数回答			
まったくくない (1)	41	3.3	16	7.8	0	0.0	2	2.0	9	4.6	4	2.2	1	2.3	0	0.0
あまりない (2)	169	13.5	42	20.5	8	7.0	13	13.1	39	19.9	19	10.6	4	9.1	1	5.9
どちらでもない (3)	406	32.4	56	27.3	27	23.5	38	38.4	65	33.2	62	34.6	9	20.5	6	35.3
少しある (4)	471	37.6	67	32.7	60	52.2	35	35.4	65	33.2	75	41.9	25	56.8	5	29.4
はっきりある (5)	166	13.2	24	11.7	20	17.4	11	11.1	18	9.2	19	10.6	5	11.4	5	29.4
合計	1,253	100.0	205	100.0	115	100.0	99	100.0	196	100.0	179	100.0	44	100.0	89	100.0
平均		3.44		3.20		3.80		3.40		3.22		3.48		3.66		3.82

・学部の特徴によって差異がハッキリ表れている。資格を有する専門職を養成する看護、薬学では「はっきりある」の比率が高く、特に看護では「少しある」を含めると7割となる。教育や建築といった資格や免許取得を重視する学部でも高い。これに対して、経営では「どちらでもない」が半数近く、文学では他と比してイメージをもたない比率が高くなっている。

表3-2. 「将来のライフプランに向けて大学生活でやるべきことが分かっていと思うか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答				
まったくわかっていない (1)	42	3.4	13	6.4	1	0.9	3	3.0	7	3.6	5	2.8	1	2.3	0	0.0	
あまりわかっていない (2)	224	17.9	57	28.1	14	12.2	15	15.2	48	24.4	27	15.3	5	11.4	0	0.0	
どちらでもない (3)	481	38.5	58	28.6	42	36.5	41	41.4	79	40.1	76	42.9	15	34.1	7	41.2	
少しわかっていく (4)	399	31.9	53	26.7	51	44.3	36	36.4	54	27.4	59	33.3	15	34.1	7	41.2	
はっきりわかっていく (5)	104	8.3	23	11.3	7	6.1	4	4.0	9	4.6	10	5.6	8	18.2	3	17.6	
合計	1,250	100.0	204	100.5	115	100.0	99	100.0	197	100.0	177	100.0	44	100.0	89	100.0	
平均		3.24		3.08		3.43		3.23		3.05		3.24		3.55		3.76	

・Q3-1と同傾向。「はっきりわかっていく」は看護や薬学、建築で高く、教育は「少しわかっていく」との回答が多い。職業との結びつきが高い学部で、「はっきり」「少し」の計で6割になる。学部別では、「わからない」の比率が食物栄養で36.5%、建築で35.7%と高くになっているのに対し、経営では18.0%と最も低い数値となっている。

表3-3. 「結婚、出産・育児、介護などのライフイベントと仕事に関してどのようなイメージをもっているか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答			
1 ライフイベントに関わらず、常勤として働き続ける	366	32.4	64	34.2	35	35.4	23	25.8	58	31.0	41	24.6	15	35.7	4	30.8
2 ライフイベントを機に退職する	39	3.5	8	4.3	1	1.0	4	4.5	7	3.7	5	3.0	0	0.0	2	2.5
3 ライフイベントを機に退職するが、落ち着いたら常勤として働く	326	28.8	51	27.3	36	36.4	33	37.1	50	26.7	47	28.1	12	28.6	4	30.8
4 ライフイベントを機に退職するが、落ち着いたら非常勤/パートで働く	78	6.9	11	5.9	7	7.1	8	9.0	12	6.4	12	7.2	0	0.0	2	15.4
5 わからない、成り行きに任せる	315	27.9	52	27.8	20	20.2	21	23.6	59	31.6	61	36.5	15	35.7	3	23.1
6 その他	6	0.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.6	0	0.0	2	2.5
合計	1,130	100.0	187	100.0	99	100.0	89	100.0	187	100.0	167	100.0	42	100.0	80	100.0

・ライフイベントと仕事に関するイメージでは、全体の傾向としては「ライフイベントに関わらず常勤」が32.4%と約3分の1、続いて「一度退職するが再び常勤として働く」、「わからない、成り行きに任せる」が3割弱となり、大きく3分されている。ライフイベントを機に退職や非常勤として働く割合は低い。学部別では、「わからない」の比率が食物栄養で36.5%、建築で35.7%と高くになっているのに対し、経営では18.0%と最も低い数値となっている。「ライフイベントに関わらず常勤」は看護と薬学で4割を超えるのに対し、食物栄養と健康スポーツでは25%程度にとどまっている。

表3-4. 「あなたが30代後半となる頃、どのような形で仕事をしたいか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答・複数回答			
1. 常勤(正社員)として働いていたい	766	68.6	138	73.0	80	76.9	59	67.0	125	71.0	111	68.9	23	60.5	7	50.0
2. 独立して起業したい	52	4.7	2	1.1	0	0.0	2	2.3	12	6.8	9	5.6	5	13.2	1	7.1
3. 親の家業を継いでいたい	9	0.8	2	1.1	2	1.9	2	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1
4. 非常勤(非正規、パート等)として働く	47	4.2	6	3.2	6	5.8	3	3.4	12	6.8	5	3.1	1	2.6	0	0.0
5. 専業主婦・主夫でいたい	76	6.8	10	5.3	9	8.7	12	13.6	6	3.4	8	5.0	2	5.3	1	7.1
6. NPOやボランティア活動をしたい	3	0.3	2	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7. わからない、成り行きに任せる	157	14.1	27	14.3	7	6.7	10	11.4	20	11.4	26	16.1	6	15.8	5	35.7
8. その他	6	0.5	2	1.1	0	0.0	0	0.0	1	0.6	1	0.6	0	0.0	0	0.0
合計	1,116	100.0	189	100.0	104	100.0	88	100.0	176	100.0	161	100.0	38	100.0	76	100.0

・看護では8割以上が「常勤で働いている」を選択、教育と文がこれに続く。その一方、経営は56%と常勤継続の回答率が低くなっている。「独立して起業したい」の比率は建築が13%と飛び抜けて高く、経営の9%がこれに続く。「専業主婦・主夫でいたい」は健康スポーツが13.6%と最も高く、短期大学部がこれに続く。

2022 年度新入生対象 SOAR 導入講義とジェンダーに関するアンケート調査結果

Q4 ジェンダーに関することがらについて

問：次のような考え・意見についてあなたはどうか思う？

表4-1. 「女性の方が子どもやお年寄りの世話がいきとどく」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答													
まったくそう思わない (1)	112	9.1	21	10.4	10	8.8	6	6.1	16	8.1	18	10.2	1	2.4	2	11.8	14	15.9	4	8.9	8	7.8	7	5.9	5	12.8
あまりそう思わない (2)	162	13.2	34	16.8	14	12.4	8	8.2	18	9.1	25	14.2	10	23.8	4	23.5	11	12.5	6	13.3	15	14.7	14	13.0	3	7.7
どちらでもない (3)	460	37.5	67	33.2	41	36.3	39	39.8	80	40.6	70	39.8	15	35.7	4	23.5	32	36.4	13	28.9	36	35.3	45	41.7	18	46.2
少しそう思う (4)	395	32.2	62	30.7	40	35.4	35	35.7	68	34.5	53	30.1	14	33.3	5	29.4	24	27.3	19	42.2	36	35.3	31	28.7	8	20.5
とてもそう思う (5)	98	8.0	18	8.9	8	7.1	10	10.2	15	7.6	10	5.7	2	4.8	2	11.8	7	8.0	3	6.7	7	6.9	11	10.2	5	12.8
合計	1,227	100.0	202	100.0	113	100.0	98	100.0	197	100.0	176	100.0	42	100.0	17	100.0	88	100.0	45	100.0	102	100.0	108	100.0	39	100.0
平均		3.17		3.11		3.19		3.36		3.24		3.07		3.14		3.06		2.99		3.24		3.19		3.23		3.13

・全体として、健康スポーツで肯定的な回答が多く、薬学で否定的な回答が多い傾向が見られるが、統計的な差異はない。

表4-2. 「女性はいずれ家庭に入るべきだ」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答/複数回答													
まったくそう思わない (1)	415	33.7	71	35.0	42	36.8	20	20.4	64	32.7	61	34.3	19	45.2	8	47.1	40	44.9	20	44.4	34	33.7	20	23.6	10	25.0
あまりそう思わない	317	25.7	53	26.1	20	17.5	24	24.5	54	27.6	44	24.7	12	28.6	4	23.5	22	24.7	13	28.9	31	30.7	35	31.8	5	12.5
どちらでもない	354	28.7	51	25.1	42	36.8	37	37.8	59	30.1	53	29.8	8	19.0	3	17.6	16	18.0	7	15.6	23	22.8	37	33.6	18	45.0
少しそう思う	112	9.1	21	10.3	7	6.1	15	15.3	15	7.7	15	8.4	3	7.1	2	11.8	10	11.2	3	6.7	9	8.9	7	6.4	5	12.5
とてもそう思う (5)	35	2.8	7	3.4	3	2.6	2	2.0	4	2.0	5	2.8	0	0.0	0	0.0	1	1.1	2	4.4	4	4.0	5	4.5	2	5.0
合計	1,233	100.0	203	100.0	114	100.0	98	100.0	196	100.0	178	100.0	42	100.0	17	100.0	89	100.0	45	100.0	101	100.0	110	100.0	40	100.0
平均		2.22		2.21		2.20		2.54		2.19		2.21		1.88		1.94		1.99		1.98		2.19		2.36		2.60

・建築、音楽、薬学、看護で否定的な回答割合が高く平均が2を割り込んでいる。これに対し健康スポと短大で否定的な回答が他よりも少なく、健康スポーツでは「少しそう思う」が15%と最も高い。

表4-3. 「女性は管理職に向いていない」

まったくそう思わない (1)	656	53.4	125	61.6	58	50.4	42	42.9	107	54.9	99	55.9	23	54.8	9	52.9	50	56.8	26	57.8	54	54.0	45	40.9	18	46.2
あまりそう思わない	296	24.1	43	21.2	30	26.1	23	23.5	57	29.2	36	20.3	10	23.8	4	23.5	18	20.5	13	28.9	22	22.0	33	30.0	7	17.9
どちらでもない	245	19.9	29	14.9	24	20.9	32	32.7	29	14.9	38	21.5	9	21.4	2	11.8	17	19.3	5	11.1	21	21.0	27	24.5	12	30.8
少しそう思う	22	1.8	4	2.0	3	2.6	1	1.0	1	0.5	4	2.3	0	0.0	0	0.0	2	2.3	1	2.2	1	1.0	4	3.6	1	2.6
とてもそう思う (5)	10	0.8	2	1.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	2	11.8	1	1.1	0	0.0	2	2.0	1	0.9	1	2.6
合計	1,229	100.0	203	100.0	115	100.0	98	100.0	195	100.0	177	100.0	42	100.0	17	100.0	88	100.0	45	100.0	100	100.0	110	100.0	39	100.0
平均		1.73		1.60		1.76		1.92		1.63		1.70		1.67		1.94		1.70		1.58		1.75		1.94		1.97

・全学部で平均が2点未満と否定的な回答が多い。文学では「まったくそう思わない」が6割を超える。一方、健康スポーツと短大は40%台。健康スポは「どちらでもない」が32.7%と他と比べて高い。

表4-4. 「女性は職場でお茶を入れるくらいの気をつかった方がよい」

まったくそう思わない (1)	612	49.8	115	56.7	61	53.5	34	34.7	100	51.3	83	46.9	20	47.6	5	29.4	53	60.2	28	62.2	50	49.5	45	40.9	18	47.4
あまりそう思わない	287	23.4	37	18.2	23	20.2	28	28.6	42	21.5	52	29.4	10	23.8	7	41.2	16	18.2	10	22.2	26	25.7	30	27.3	6	15.8
どちらでもない	268	21.8	41	20.2	24	21.1	24	24.5	45	23.1	37	20.9	10	23.8	5	29.4	16	18.2	7	15.6	19	18.8	29	26.4	11	28.9
少しそう思う	49	4.0	8	3.9	5	4.4	9	9.2	7	3.6	5	2.8	2	4.8	0	0.0	2	2.3	0	0.0	5	5.0	5	4.5	1	2.6
とてもそう思う (5)	12	1.0	2	1.0	1	0.9	3	3.1	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	1	1.0	1	0.9	2	5.3
合計	1,228	100.0	203	100.0	114	100.0	98	100.0	195	100.0	177	100.0	42	100.0	17	100.0	88	100.0	45	100.0	101	100.0	110	100.0	38	100.0
平均		1.83		1.74		1.79		2.17		1.81		1.80		1.86		2.00		1.66		1.53		1.82		1.97		2.03

・上の4-3と同じ傾向で、否定的な回答が多いが、特に建築、看護、文学でその傾向が強い。健康スポーツでは「少しそう思う」「とてもそう思う」合計が12.3%で、他と比べて高い値となっている。

表4-5. 「赤やピンクは女性らしい色である」

まったくそう思わない	350	28.5	53	26.1	30	26.3	22	22.4	55	28.2	65	36.7	17	40.5	3	17.6	31	35.2	13	28.9	24	23.8	25	22.7	12	32.4	*
あまりそう思わない	234	19.1	38	18.7	27	23.7	19	19.4	33	16.9	34	19.2	2	4.8	4	23.5	16	18.2	9	20.0	21	20.8	27	24.5	4	10.8	
どちらでもない	363	29.6	64	31.5	28	24.6	42	42.9	49	25.1	44	24.9	12	28.6	5	29.4	26	29.5	10	22.2	30	29.7	41	37.3	12	32.4	
少しそう思う	238	19.4	43	21.2	22	19.3	12	12.2	49	25.1	33	18.6	11	26.2	3	17.6	11	12.5	11	24.4	23	22.8	14	12.7	6	16.2	
とてもそう思う	42	3.4	5	2.5	7	6.1	3	3.1	9	4.6	1	0.6	0	0.0	2	11.8	4	4.5	2	4.4	3	3.0	3	2.7	3	8.1	
合計	1,227	100.0	203	100.0	114	100.0	98	100.0	195	100.0	177	100.0	42	100.0	17	100.0	88	100.0	45	100.0	101	100.0	110	100.0	37	100.0	
平均		2.50		2.55		2.55		2.54		2.61		2.27		2.40		2.82		2.33		2.56		2.60		2.48		2.57	

・建築と食物で「まったくそう思わない」との否定的な回答が4割前後と高い。健康スポーツで「どちらでもない」42.9%、生活環境と建築、看護で「少しそう思う」が約4分の1を占める。

表4-6. Q4の項目間の相関

		4-1. 子どもやお年寄りの世話がいきとどく	4-2. 家庭に入るべき	4-3. 管理職に向き	4-4. お茶を入れる気かい	4-5. 赤やピンクは女性らしい色である
4-1. 女性の方が子どもやお年寄りの世話がいきとどく	相関係数 有意確率 度数					
4-2. 女性はいずれ家庭に入るべきだ	相関係数 有意確率 度数	.352 ** 0.000 1225				
4-3. 女性性は管理職に向いていない	相関係数 有意確率 度数	.168 ** 0.000 1222	.475 ** 0.000 1228			
4-4. 女性性は職場でお茶を入れるくらいの気をつかった方がよい	相関係数 有意確率 度数	.163 ** 0.000 1222	.435 ** 0.000 1226	.530 ** 0.000 1226		
4-5. 赤やピンクは女性らしい色である	相関係数 有意確率 度数	.257 ** 0.000 1221	.305 ** 0.000 1225	.300 ** 0.000 1225	.349 ** 0.000 1227	

** Pearson相関係数は 1% 水準で有意 (両側)

・4-1 (家庭に入るべき) と4-3 (管理職に向き)、4-4 (お茶を入れる気遣い) の間に中程度 (0.4以上) の正の相関が見られる。特に4-3と4-4の相関は0.530と最も高くなっている。

4-1 (子どもやお年寄りの世話) と4-2 (家庭に入るべき) との間 (0.352)、4-4 (お茶を入れる気遣い) と4-5 (赤やピンクは女性らしい) の間 (0.349) にも弱い正の相関が見られる。

4-5 (赤やピンクは女性らしい) については、4-4 (お茶を入れず気遣い) の他、4-2 (家庭に入るべき) と4-3 (管理職に向き) の間にも0.3程度の弱い正の相関が検出された。

(安東・中尾・河合・西尾・高橋・山本・高橋)

表4-7. 「3-3ライフイベントと仕事のイメージ」を因子、「4ジェンダーイメージ」を従属変数とする分散分析結果

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意 確率
4-1. 女性の方が子どもやお年寄りの世話がいきとどく	グループ間 グループ内 合計	25.10 1199.04 1224.13	4 1105 1109	6.274 1.085	5.782 ***
4-2. 女性はいずれ家庭に入るべきだ	グループ間 グループ内 合計	27.08 1249.77 1276.85	4 1108 1112	6.770 1.128	6.002 ***
4-3. 女性は管理職に向いていない	グループ間 グループ内 合計	9.32 857.58 866.90	4 1107 1111	2.329 0.775	3.006 *
4-4. 女性は職場でお茶を入れるくらい の気をつかった方がよい	グループ間 グループ内 合計	17.43 1014.79 1032.22	4 1107 1111	4.358 0.917	4.754 ***
4-5. 赤やピンクは女性らしい色だ	グループ間 グループ内 合計	20.55 1549.12 1569.67	4 1106 1110	5.138 1.401	3.668 **

*** p<.001, ** p<.01, * p<.05

「3-3 ライフイベントと仕事のイメージ」の選択肢

1. ライフイベントに関わらず、常勤として働き続ける
2. ライフイベントを機に退職する
3. ライフイベントを機に退職するが、落ち着いたら常勤として働く
4. ライフイベントを機に退職するが、落ち着いたら非常勤/パートで働く
5. わからない、成り行きに任せる

※1. 「6. その他」については分析に投入していない。
※2. 上記の問いを、「まったくそう思わない」～「とてもそう思う」の5件法で尋ねた。

・4-1～4-5のいずれにおいても分散分析の結果、5%以上の有意差を得た。
特に「4-1. 子どもやお年寄りの世話」「4-2. 家庭に入るべき」「4-4. お茶を入れる気遣い」
の3つの質問においては、0.1%水準で有意差が見られた。

表4-8. 「3-3ライフイベントと仕事のイメージ」を因子、「4ジェンダーイメージ」を従属変数とする分散分析の多重比較結果

従属変数	因子		平均値の差		分散分析	
	(I) 3-3. ライフイベントと仕事のイメージ	(J) 3-3. ライフイベントと仕事のイメージ	(I-J)	標準誤差	多重比較	結果(表4-7)
4-1. 子どもやお年寄りの世話	1 L・Eに関わらず、常勤として働き続ける	3 LEを機に退職するが、落ち着いたら常勤として働く	－0.309	0.080	1<<<3、	***
	3 L・Eを機に退職するが、落ち着いたら常勤として働く	5 わからない、成り行きに任せる	0.309	0.083	5<<3	
4-2. 家庭に入るべき	1 L・Eに関わらず、常勤として働き続ける	4 LEを機に退職するが、落ち着いたら非常勤として働く	－.617	0.134	1<<<4、	***
	3 L・Eを機に退職するが、落ち着いたら常勤として働く	4 LEを機に退職するが、落ち着いたら非常勤として働く	－.401	0.135		
	4 L・Eを機に退職するが、落ち着いたら非常勤として働く	5 わからない、成り行きに任せる	0.442	0.136	3, 5<4	
4-3. 管理職に不向き	1 L・Eに関わらず、常勤として働き続ける	2 LEを機に退職する	－.428	0.148	1<2	*
4-4. お茶を入れる気づかい	1 L・Eに関わらず、常勤として働き続ける	4 LEを機に退職するが、落ち着いたら非常勤として働く	－.407	0.141	1<4	***
4-5. 赤やピンクは女性らしい	1 L・Eに関わらず、常勤として働き続ける	4 LEを機に退職するが、落ち着いたら非常勤として働く	－.567	0.149	1, 5<<4、	**
	4 L・Eを機に退職するが、落ち着いたら非常勤として働く	5 わからない、成り行きに任せる	0.506	0.151		
	3 L・Eを機に退職するが、落ち着いたら常勤として働く	4 LEを機に退職するが、落ち着いたら非常勤として働く	－.468	0.151	3<4	
※ライフイベントを“L・E”と略している。 ※質問4の問いに対して、肯定的回答を5～否定的回答を1とする5件法で回答を求めている。						
※※※ 3-3の選択肢「6. その他」は分析から除いている。 <<< p<.001, << p<.01, < p<.05						

- ・「4-1.女性の方が子どもやお年寄りの世話に向いている」への回答は、「3.L・Eを機に退職するが落ち着いたら常勤として働く」と答えた者の平均が、「1.常勤として働き続ける」と答えた者の平均よりも有意に高い。平均値では「4.L・Eを機に退職するが、落ち着いたら非常勤として働く」が最も高いが、分散の関係で、他の項目との間で統計的な有意差は見られなかった。
- ・「4-2.女性はいずれ家庭に入るべき」では、「4.L・Eを機に退職するが落ち着いたら非常勤として働く」と回答した者の値が最も高く、「1.常勤として働き続ける」では0.1%水準で有意差が見られ、「3.落ち着いたら常勤で働く」と「5.分らない、成り行きまかせ」との間においては5%水準で有意差があった。
- ・「4-3.女性は管理者に不向き」に対する回答では、「2.L・Eを機に退職する」と答えた者の平均が最も高かったが、「1.常勤として働き続ける」との間にはのみ5%水準で有意差が見られた。
- ・「4-4.女性はお茶を入れるくらいの気遣い」への回答では、「1.常勤として働き続ける」と「4.落ち着いたら非常勤として働く」の間にはのみ5%水準の有意差が見られ、後者の平均値が高い。
- ・「4-5.赤やピンクは女性らしい色」の回答でも、「4.L・Eを機に退職するが落ち着いたら非常勤として働く」との回答者の平均が最も高く、「1.常勤として働き続ける」「5.分らない・成り行き」との間に1%水準、「3.L・Eを機に退職するが落ち着いたら常勤として働く」の間では5%水準の有意差が認められた。

Q5. セクシュアリティに関することがらについて

Q5-1 これまでに性的マイノリティについて知る機会がありましたか。

表5-1.1「機会なし」	合計		文学部		教育学部		健康スポーツ科学部		生活環境学部		食物栄養科学部		建築学部		音楽学部		薬学部		看護学部		経営学部		短期大学部		無回答/複数回答		
あてはまらない	1,077	84.6	168	82.0	96	82.1	79	79.0	168	84.8	160	88.9	41	93.2	12	70.6	74	82.2	36	80.0	91	87.5	95	86.4	57	90.5	n.s.
あてはまる	196	15.4	37	18.0	21	17.9	21	21.0	30	15.2	20	11.1	3	6.8	5	29.4	16	17.8	9	20.0	13	12.5	15	13.6	6	9.5	
合計	1,273	100.0	205	100.0	117	100.0	100	100.0	198	100.0	180	100.0	44	100.0	17	100.0	90	100.0	45	100.0	104	100.0	110	100.0	63	100.0	

表5-1.2「学校の授業」																												
①	あてはまらない	420	33.0	70	34.1	40	34.2	44	44.0	55	27.8	42	23.3	11	25.0	3	17.6	36	40.0	13	28.9	31	29.8	30	27.3	45	71.4	***
	あてはまる	853	67.0	135	65.9	77	65.8	56	56.0	143	72.2	138	76.7	33	75.0	14	82.4	54	60.0	32	71.1	73	70.2	80	72.7	18	28.6	
	合計	1,273	100.0	205	100.0	117	100.0	100	100.0	198	100.0	180	100.0	44	100.0	17	100.0	90	100.0	45	100.0	104	100.0	110	100.0	63	100.0	

表5-1.3 「テレビ・ラジオ、新聞等のマスメディア」																												
あてはまらない		825	64.8	113	55.1	85	72.6	73	73.0	120	60.6	118	65.6	26	59.1	6	35.3	52	57.8	30	66.7	70	67.3	73	66.4	59	93.7	***
③	あてはまる	448	35.2	92	44.9	32	27.4	27	27.0	78	39.4	62	34.4	18	40.9	11	64.7	38	42.2	15	33.3	34	32.7	37	33.6	4	6.3	
合計		1,273	100.0	205	100.0	117	100.0	100	100.0	198	100.0	180	100.0	44	100.0	17	100.0	90	100.0	45	100.0	104	100.0	110	100.0	63	100.0	

表5-1.4 「書籍・雑誌」																												
④	あてはまらない	1,098	86.3	160	78.0	103	88.0	93	93.0	173	87.4	158	87.8	38	86.4	14	82.4	72	80.0	42	93.3	90	86.5	94	85.5	61	96.8	**
	あてはまる	175	13.7	45	22.0	14	12.0	7	7.0	25	12.6	22	12.2	6	13.6	3	17.6	18	20.0	3	6.7	14	13.5	16	14.5	2	3.2	
	合計	1,273	100.0	205	100.0	117	100.0	100	100.0	198	100.0	180	100.0	44	100.0	17	100.0	90	100.0	45	100.0	104	100.0	110	100.0	63	100.0	

表5-1.5 「インターネット、SNS」																												
あてはまらない		772	60.6	105	51.2	74	63.2	68	68.0	109	55.1	123	68.3	25	56.8	8	47.1	42	46.7	28	62.2	65	62.5	71	64.5	54	85.7	***
②	あてはまる	501	39.4	100	48.8	43	36.8	32	32.0	89	44.9	57	31.7	19	43.2	9	52.9	48	53.3	17	37.8	39	37.5	39	35.5	9	14.3	
合計		1,273	100.0	205	100.0	117	100.0	100	100.0	198	100.0	180	100.0	44	100.0	17	100.0	90	100.0	45	100.0	104	100.0	110	100.0	63	100.0	

2022 年度新入生対象 SOAR 導入講義とジェンダーに関するアンケート調査結果

表5-1.6「当事者である友人・知人から直接」

あてはまらない	1,167	91.7	3	1.5	108	92.3	93	93.0	182	91.9	165	91.7	42	95.5	14	82.4	83	92.2	40	88.9	95	91.3	100	90.9	61	96.8	n.s.
* あてはまる	106	8.3	21	10.2	9	7.7	7	7.0	16	8.1	15	8.3	2	4.5	3	17.6	7	7.8	5	11.1	9	8.7	10	9.1	2	3.2	
合計	1,273	100.0	205	100.0	117	100.0	100	100.0	198	100.0	180	100.0	44	100.0	17	100.0	90	100.0	45	100.0	104	100.0	110	100.0	63	100.0	
	合計		文学部		教育学部		健康スポーツ科学		生活環境学部		食物栄養科学部		建築学部		音楽学部		薬学部		看護学部		経営学部		短期大学部		無回答・複数回答		

- ・性的マイノリティを知る機会がこれまで「ない」と答えたのは15.4%であり、8割強の大部分の者は何らかの形で知識を得る機会があったと答えた（表5-1.1）。機会が多かった率が高い順に「①学校の授業」が67.0%と3分の2を占め他より圧倒的に多く、続いて「②インターネット・SNS」39.4%、「③テレビや新聞」35.2%となり、「④書籍・雑誌」は13.7%と低くなる。
- 「*当事者である友人や知人」から直接とする者も8.3%いた。音楽、看護、文学で少し比率が高くなっている。ただし、得られた情報の程度や正確さ・信憑性については不明である。
- ※上の6問の他、「アルバイトでの研修」「自主的に参加した講演やセミナー」「その他」の質問を設けたが、「あてはまる」と答えた者はそれぞれ、12名(0.9%)、19名(1.5%)、14名(1.1%)と少数であったので割愛した。

Q5-2 トランス女性が女子大入学 することについてあなたはどのように思いますか。

表5-2.「トランス女性（戸籍は男性だが性自認が女性）が女子大学に入学することについて、あなたはどうか思うか」

	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答・複数回答													
大いに反対である (1)	20	1.6	4	2.0	2	1.7	0	0.0	3	1.5	4	2.2	1	2.3	0	0.0	2	2.3	1	2.2	2	2.0	1	0.9	0	0.0
反対である (2)	51	4.2	13	6.4	1	0.9	2	2.1	6	3.1	12	6.7	2	4.7	2	11.8	3	3.5	1	2.2	2	2.0	5	4.5	2	7.4
どちらでもない (3)	339	27.9	36	17.7	44	38.3	33	34.0	41	21.1	51	28.7	13	30.2	3	17.6	29	33.7	12	26.7	26	26.3	40	36.4	11	40.7
賛成である (4)	345	28.4	53	26.1	32	27.8	37	38.1	62	32.0	49	27.5	9	20.9	4	23.5	22	25.6	11	24.4	33	33.3	25	22.7	8	29.6
大いに賛成である (5)	459	37.8	97	47.8	36	31.3	25	25.8	82	42.3	62	34.8	18	41.9	8	47.1	30	34.9	20	44.4	36	36.4	39	35.5	6	22.2
合計	1,214	100.0	203	100.0	115	100.0	97	100.0	194	100.0	178	100.0	43	100.0	17	100.0	86	100.0	45	100.0	99	100.0	110	100.0	27	100.0
	3.97	4.11	3.86	3.88	4.10	3.86	3.95	4.06	3.87	4.07	4.00	3.87	3.67													

- ・否定的な回答は全体で5.8%と低く、文と食物栄養で8~9%と少し高くなる。「大いに賛成」「賛成」を合計すると、66.2%と3分の2が賛成と回答している。特に文学は73.9%と最も高い。
- これに対し、健康スポーツでは「大いに賛成」の比率が25.8%と最も低くなっている。それでも「賛成」を加えると63.9%が賛成と答えている。

Q6 本学への入学理由について

表6-1. 本学への入学理由

表 6-1. 本学への入学理由	左欄太字：平均（満点5点）																				右欄斜字：標準偏差					
	合計	文学部	教育学部	健康スポーツ科学部	生活環境学部	食物栄養科学部	建築学部	音楽学部	薬学部	看護学部	経営学部	短期大学部	無回答／複数回答													
1. 学びたい学科や専攻があったから	4.16	1.00	4.08	1.02	4.24	0.99	4.07	1.03	4.29	0.91	4.39	0.88	4.41	0.84	4.35	0.61	4.08	1.12	4.36	0.91	3.67	1.12	4.17	0.98	3.63	1.15
2. 就職率がよい	3.88	1.00	3.77	1.07	4.17	0.94	3.94	0.87	3.88	0.99	3.97	0.92	3.93	0.95	3.71	1.11	3.47	1.18	3.87	0.84	3.81	1.00	4.02	0.95	3.54	0.98
3. 教育に力を入れていると聞いたから	3.67	1.01	3.65	1.05	4.11	1.02	3.77	0.93	3.48	1.02	3.72	0.98	3.68	0.91	3.59	1.23	3.51	1.07	3.69	0.97	3.53	0.92	3.79	0.97	3.08	0.97
4. 自分の学力、偏差値に合う大学だったから	3.36	1.08	3.36	1.08	3.31	1.05	2.85	0.96	3.46	1.08	3.56	1.12	3.39	0.95	3.47	0.87	3.63	1.09	3.80	0.87	3.16	1.13	3.24	1.03	3.09	1.11
5. よく名前を知られている大学だから	3.51	1.07	3.53	1.06	3.62	1.07	3.46	1.05	3.31	1.08	3.66	1.11	3.23	1.08	3.88	1.15	3.27	1.12	3.69	1.08	3.49	0.89	3.85	1.03	3.00	0.95
6. 自宅から通学できる距離にあったから	3.24	1.40	3.08	1.47	3.16	1.34	3.00	1.49	3.20	1.42	3.48	1.36	3.30	1.42	3.59	1.58	3.29	1.42	3.76	1.15	3.24	1.35	3.28	1.33	2.65	1.31
7. 施設や設備がきれいで充実していると 思ったから	3.64	1.18	3.57	1.22	3.77	1.23	3.52	1.13	3.60	1.22	3.69	1.14	3.70	1.26	3.88	0.93	3.30	1.17	3.71	1.20	3.82	1.14	3.75	1.14	3.11	1.10
8. 様々な資格や免許を取得できるから	3.81	1.05	3.68	1.09	4.10	0.92	4.05	1.00	3.71	1.03	4.18	0.86	4.09	0.83	3.82	0.73	3.67	1.05	3.67	1.21	3.03	1.09	3.96	0.93	3.40	1.19
9. 就職やクラス担任制など学生生活のサ ポートが手厚いと聞いたから	3.63	1.07	3.64	1.15	3.81	1.00	3.56	1.03	3.43	1.14	3.73	1.02	3.68	1.01	3.88	1.17	3.72	1.08	3.71	1.04	3.53	1.04	3.69	1.00	3.10	0.97
10. 聴覚大学で幅広い教養を身につけるこ とができるから	3.70	1.02	3.69	1.05	3.82	1.00	3.67	0.95	3.71	1.10	3.80	0.95	3.48	0.92	3.94	1.14	3.57	1.10	3.73	0.99	3.53	0.98	3.83	0.90	3.05	1.15
11. 阪神間の都市部に広いから	2.94	1.23	2.95	1.35	3.04	1.11	2.78	1.24	2.88	1.25	2.98	1.25	2.98	1.17	2.88	1.36	2.99	1.15	3.11	1.25	2.70	1.21	3.06	1.09	3.11	1.24
12. 家族や教師に勧められたから	3.15	1.24	3.16	1.27	3.23	1.20	3.37	1.22	2.97	1.26	2.98	1.29	3.14	1.21	3.35	1.32	3.20	1.27	3.04	1.26	3.20	1.21	3.33	1.11	3.11	1.10

※各項目、「かなりあてはまる」5点、「少しあてはまる」4点、「どちらでもない」3点、「あまりあてはまらない」2点、「まったくあてはまらない」1点の5件法とし、点数を割り振った。

- ・いずれの学部もQ1「学びたい学科や専攻」の平均は4点を超えて高い。特に、建築、看護、食物栄養など、資格と職業が結びついている学部で特に高い傾向が見られる。
- 就職のよさを挙げた者も3.88と高い数値となっている。特に教員採用試験の合格率が高いことをアピールしている教育学部、さらに短期大学部でも就職に重きを置いていることがわかる。

表6-2. 因子分析結果（パターン行列と因子名）

	第1因子: 教育サポ ート因子	第2因子: 効用度因子 (知名度と 立地)	第3因子: 学びたい領 域	共通性 因子抽出後
質問項目				
9. 学生生活のサポートが手厚い	0.837	-0.051	-0.115	0.566
10. 総合大学で幅広い教養が身につく	0.798	0.000	-0.073	0.576
3. 教育に力を入れている	0.641	-0.052	0.188	0.543
8. 資格・免許の取得に有利	0.477	-0.019	0.237	0.400
2. 就職率がよい	0.372	0.094	0.190	0.315
7. 施設設備の充実	0.339	0.195	0.246	0.417
5. 名前を知れている大学	0.126	0.563	0.012	0.414
6. 通学距離	-0.228	0.492	0.081	0.194
11. 阪神間の都市部にある	0.052	0.490	-0.114	0.231
12. 家族や教師の勧め	0.149	0.308	-0.223	0.121
4. 自分の学力に合う	0.007	0.280	0.170	0.149
1. 学びたい学科や専攻	0.156	-0.122	0.626	0.461

因子抽出法: 主因子法

回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

IBM SPSS Statistics Ver.28

- ・武庫川女子大学への入学理由を12項目、5件法で回答を求めた。これらの質問項目は、2006年2月に実施した卒業生を対象として実施したアンケートの質問項目を基に再構成したものである。（安東由則「『女子大学』に関する意見の因子分析—女子学生への調査と他大学調査との比較—「研究レポート」39号、pp.1-29.）
- 2006年調査では、21の質問項目を設けて実施した結果、「教育環境」（第1因子）、「知名度・伝統」（第2因子）、「受験」（第3因子）、「通学」（第4因子）の4因子が得られた。
- 本アンケートは、ジェンダーやセクシャリティについての問いを主とするものであり、対象者の負担も考慮して質問項目を12に絞り込んだ。よって2006年調査と単純に比較することはできない。
- 「6-1-1. 学びたい学科」については天井効果があるが、この項目も投入して因子分析（プロマックス法）を行なったところ、3因子が得られた（ヴァリマックス法でも因子構成は同じであった）。
- 第1因子は5つの項目から構成される「教育・サポート因子」、第2因子は3つの項目からなる「効用度因子」、第3因子は「学びたい学科・専攻」のみからなる「学びたい領域因子」と命名した。

自由記述（講義を受けての将来を考えるヒントや気づき）

Q1～Q7のSOAR講義やキャリアプラン、ジェンダー等についての選択質問に続いて、「本日の講義が、これからのあなたの大学生活や将来を考えるうえで、何らかのヒントや気づきになったと思うことがあれば、自由に書いてください。」との自由記述欄を設けた。この設問に対しては、176名から回答があった。安東が、記述内容を読んで大まかに分類した結果、以下の通りとなった。

主としてジェンダーやセクシュアリティに関して述べた内容が47件、キャリアを中心とした内容が38件、法制度・社会制度や社会の現状、知識の獲得に関する内容が33件、自分らしさなど主体的な生き方を書いた内容が76件、偏見や脱常識について言及した内容が19件、女子大学について言及しているものが14件、これからの人生設計や生き方を述べた内容が34件、などである。下に紹介した例でも分るように、一文に複数のカテゴリー内容が含まれていることもあり、あくまでも大まかな分類であることを断っておく。

以下、分類ごとに学生の記述内容の一部を紹介する。

①ジェンダー／セクシュアリティに関する記述内容

・知らない間にジェンダー思考があるっていう気づきになった。
・セクシュアリティなど言葉を聞いたことはあっても詳しく学ぶことがなかったので話を聞くことができてよかった。
・女性中心の社会についてより深く考えようと思う機会になった。また自分も無意識のうちにジェンダー差別をしていることに気づき、自分自身でもジェンダーについてもっと考えようと思った。
・男性から女性への差別意識だけでなく私も無意識に男性へ偏見を持っていたことに気が付きました。気をつけていきます。
・無意識に女と男を分けている発言をしているということを気をつける。
・特にジェンダーについては自分の考え方が偏見や固定概念に侵されていないか考え直すきっかけになりました。これからも常に意識していきたいです。
・日本はまだ女性の地位が低いことが理解出来た。女性はこうだという固定概念を持たずに過ごしていきたいと思う。
・同じ行為で男女差を無意識のうちに偏見により考えてしまっていることに注意しようと思いました。
・日本の男女差が激しいことに気づくことができました／日本の男女平等の意識の低さに驚いた。
・男尊女卑的な考え方が根付いていたことを気付かされた授業だった。
・男女差別を少しでも無くすために、男性と女性での評価の違いをなくそうと思いました。
・ジェンダーに関心がありましたが、普通という観点がなくて聞いて納得しました。
・女性でも生きやすくなってきている世の中にとっても嬉しく思いました。
・女性だからといって自分のやりたいことを諦めずするべきだなんて思いました。
・女性だからといって諦めることはないと思った。／・女性であることに劣等感を抱かない。
・自分の周りにはいろんな価値観を持った人がいて、否定することなく自分の視野を広げていきたいと思った。
・自分はジェンダーに関する偏見はない方だと思っていたけど、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)が少しあったことに気がつきました。今以上に敏感にならないといけないと思いました。
・薬学部は女性の方が多い学部です。人間関係を築くことが大切だと思います。男性が多い仕事や学部もあります。男性と女性が共立することが大切だと思います。お互いの立場を築くことが大切だと思います。

②キャリア、キャリアプランに関する内容

・女性が働きやすくなって来ていることが分かった。／・女性の活躍が増えているのはすごくいいなと思いました。
・女性労働者の非正規雇用の割合が56%と知って、思っていたよりも多く、過半数だったので驚きました。私は正規雇用で働きたいので就職活動を頑張ろうと思いました。
・一般事務職はAI、ロボットが人に代わるので、大学では人にしか出来ないスキルを身につけないといけないと改めて感じた。
・キャリアやライフプランについて、悩んでいたところだったので、ものすごく安心しました！とても勉強になりました。ありがとうございます！共通科目で受講したいと思います！
・女性が活躍している会社のマークがあるところに就職したい。／・就職する際に女性の扱いはどうかを調べる。
・これからのキャリアのことや大学生生活のヒントになりました。
・女性の仕事環境とキャリアデザインで女性の働き方がむかしと異なってきている事が理解でき、これからはもっと自分で考えて人生設計をしていく必要があると思った。
・もっと女性がリーダーシップをとれる社会になれば良いと思う。

③ライフプランに関する内容

・人生の計画をもっと具体的に考えるようにしようと思った。 / ・人生設計って大切だと気づいた。

・社会で働くのはまだ先のことに思っていたが、今からライフプランを考えて過ごしたいと思いました。

・ライフプランについて学び、今まで予想出来なかった将来がすこし考えられるようになった。

・社会に出たときにどんな人生を送りたいか考える機会になった。

・自分たちの歩む人生のライフプランやキャリアプランを従来のものと思っていた。変わっていることに今日初めて気づいた。

・自分の人生のプランは自分でつくらないといけないと分かりました。

・人生100年時代ということについて改めて考え直す機会となり、大学を出てどのような生活を送るかのイメージをすることができたのでとても有意義な時間となりました。

・人生100年時代に突入している日本で、女性でも何ができるか、女性が活躍するためには何を自分たちがするべきかを考えなくてはならないと改めて思った。

・女性の働く環境が整えられている現状を知って少し、将来に対する不安は和らいだ。

・女性が生きやすい世の中になんてなっていることがすごいと思った。

・ゆっくり時間をかけて将来について考えるべきだなと思いました。

・過去や今だけを考えることはやめようと思った。

④社会制度・法制度や社会の変化に関する内容

・私たちが女性として生きていく上で必要な知識を得られたと思う。

・一個人として、一人の女性として生きていくためには、世界情勢を知ることも大切だと感じた。また、世界的にも日本が男女格差の多い国だと言うことを再認識出来たことは良い機会だったと思う。

・今まで曖昧に捉えていた女性の社会的位置などをきちんと把握することができ、今後の社会生活に活かしていきたいと思うとともに、履修の一つとしても考えたいとも思った。

・女性には追い風が吹いていると知ったこと / ・女性が働きやすい社会になりつつあること

・現代の社会では女性が活躍する場面が多くなっており、女性がしたいと思うことを実現させることが可能にできる世界になると思いました。

・法律等についてはよく学ぶ必要があると感じた。 / 女性の法について考えようと思った。

・卒業後の進路について何も分からなかったが、社会が女性のサポートに積極的になっていることが分かり安心した。

・育児休暇のことに詳しく知れたことが良かった。 / ・様々な保障制度があることはありがたい

・子供ができた時の休業期間を知れてよかったと思いました。 / ・育児休暇の大切さ

・育児給付金があるということを初めて知りました。 / ・何か困ったら市役所に行くこと

・日本にはまだまだ格差が残っている中、女性を支える法律が少しずつできていくことに驚いたし、嬉しかったです。

・女性を守る制度ができてきているのを知って安心しました。男女平等の格差は、日本のランキングが下だったので、一人ひとりがこの課題に意識を向け取り組むことが大切だと思いました。

⑤自身の主体性や生き方に関する内容

・大学生のうちにボランティアやリーダーシップを取ることでたくさんの経験を積みたいと思いました。

・女性リーダーになりたいと思った。 / ・女性もっと活躍できると気づけました。

・大学生活の中で沢山の経験を自分から探して、興味のあることに率先して取り組んでいきたい。

・4年間を無駄にしないように将来についてももっと深く考えなければならないと思いました。

・大学4年間でどんな生活を送ろうかと一度しっかり考えてみようと思った。

・社会で男性に勝ち抜いていくためには、大学生活で、できるだけ多くの力を身につけるべきだなと思いました。

・自分自身も女性だからと勝手に制限をかけていた部分があることに気づいたので、これからは自分が何をしたいかを大切に過ごしていきたいと思いました。

・今の私が未来の私をつくるので今まで挑戦できなかったことに挑戦してみようと思いました。

・生きにくい世の中なのかもしれないけれど自分らしく生きていきたいと思った。 / ・逃げたら人生終わりだと思った。

・自分が頭の中で考えている、ふんわりとした将来設計だけでなく、今から具体的なしっかりとした将来設計が必要であると気がつかされた。 / ・曖昧にではなくしっかりと計画性を持って考えていきたい。

・女性でも輝けることを知った。 / ・女性でも強く生きれる。 / ・女性として社会に出る自信ができた。

- ・将来なりたい自分を一年生のうちから考えていくことが大切だと感じた。／・自分の将来に一步近づいた。
- ・女性はずっと自由に色々なことに挑戦するべきだと思いました。
- ・女性が生活しやすい社会が出来ていると思うとこれからの心配が減った気がしました。
- ・未来の自分を作るのは今の自分／・将来を見えながら、大学生活を送りたいと思いました。
- ・一つ一つをまず自分の頭で考えて覚えていき、行動にしていける事が大切だと感じました。
- ・もっと先だと思っていたことが意外と身近なことで将来のことをもっと考えていかなければいけないと思った。
- ・目先のことでなく、将来のこともよく考えて選択、行動していくことが大切だと思った。
- ・自分の人生は自分で決める！／・自分らしく生きたいと思った。／・自分の選択肢でたくさん活躍する場があると思った。
- ・自分らしい人生を歩んで行くこと、将来のために早めに準備をして興味を持って学んでいきたいと思えました。
- ・これからの人生で経験するであろうさまざまなことを知ることができた。

⑥女子大学、女子大学での学びに関する内容

- ・まだ入学したばかりで不安なことの方が多くいけれど、女子大学だからこそ学べることもありました。
- ・せっかく女子大に入学したし生かされたいなと思いました。／・女子大だからこそその観点だと感じた。
- ・女子大だからこそ学べる分野で講義を受けてみたいと思った。
- ・自分自身が気になっていた、女子大の強みなどを知ることができて良かった。
- ・女子大の存在がずっと気になっていたので知ることができて良かったです。
- ・男女平等を願う中で、自分自身が男女の偏見にとらわれ、ジェンダー問題に前向きに考えられてないことに気付かされました。この大学で女性だからこそ出来るのが、学べることを強く感じました。
- ・女子だけの大学で、今まで共学で男子が役割を担っていた事を女子が率先してしないといけなくなるので私も率先して行動したいと思いました。
- ・女子大で学び、女性として生きる上で必要な基本的知識を身に付けることができ、有意義な時間でした。
- ・女性がこれからの時代の社会を担えるような教育や講義を受ける機会が武庫川女子大学にはある事が分かりました。
- ・社会で働く女性という観点で考えると他大学より意識高く就職活動を始められる可能性が高いことに気が付きました。武庫女に入学して良かったと思いました。

⑦脱常識や偏見への気づきに関する内容

- ・女性だから出来ないことは何一つないということ／・固定概念を捨てる！
- ・自分の常識がみんなの常識だとは限らないと理解できた。／・自分にとっての「ふつう」や当たり前を見直そうと思った。
- ・「自分の当然、を決めてはいけない」という言葉にすごく共感しました。一人一人の特性を自信を持って生かせるような環境がいいなと思いました。私はどんな人でも、同じように接することが出来る人間になりたいです。
- ・自分の常識や普通が当然であると思う生き方から変え、多様な考え方を身につけることが必要だと思った。
- ・男性は～すべき女性は～であるべきという偏見を無くすべきだと感じた。
- ・無意識に差別していることがよくあると改めて感じた。そこをできるだけなくしていきたいと思うことができた。
- ・今まで見て見ぬふりをしてきた問題に向き合って自分自身の考えを見直すべきだと思いました。
- ・日常生活の中で、普段悪気がなく差別をしていたという事に気付きました。
- ・アンコンシャス・バイアスの話が出た時に、このようなものは自身では気づきにくい将来社会に出た時には今よりもさらに気をつけないといけないと思った。

これ以外の回答については少数であり、省略する。

以上